

令和7年度（2025年度）特別支援学校DXサポート推進事業 ICT活用研修② 障がいが重度で重複している児童生徒に向けたICT活用法 実施要項

1 目的

ICTを活用した授業改善や働き方改革に向けた校務DXを主なテーマに、特別支援教育におけるICTの効果的な活用についての理解を深めることを目的とする。

特に、ICTの活用に課題を感じている教職員や、障がいが重度で重複している児童生徒を担当する教職員を対象に、クラウドサービスをはじめとした各種ツールの演習や実践的な取組の紹介等を通して、授業や校務での実践的な活用方法を習得し、児童生徒一人一人の学びを支える力の向上を図る。

2 主催

北海道立特別支援教育センター

3 方法及び会場

遠隔形式（配信：北海道立特別支援教育センター）

4 参加対象

道立特別支援学校教職員

5 日程及び内容

【令和8年1月20日（火）】

15:20 15:45

16:30

16:45

接続・受付	【講義】	【交流・まとめ】
	障がいが重度で重複している児童生徒の学びにおけるICTの効果的な活用について 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部主任研究員 織田晃嘉氏 (45分)	参加者が担当する児童生徒の支援や指導内容や活用例について 特セン所員 (15分)

6 申込方法

(1) 申込方法

参加希望の方は、特センWebページから直接お申し込みください。右の二次元コードをデータ上でクリック又は読み込むと、Webページにアクセスできます。



(2) 申込受付期間

11月17日（月）16:00～12月19日（金）17:00

Webページはこちらから

7 受講履歴の取扱い

- ・全国教員研修プラットフォーム（Plant）の対象教員の受講履歴の登録は、各校でお願いします。

8 備考

- ・遠隔形式での研修のZoomのIDやパスコード、開催要項、講義資料等は、申込受付期間終了後にWebページに掲載し、申込時に入力されたメールアドレスにお知らせします。
- ・申込完了メールや当センター（tokukyo.12@pref.hokkaido.lg.jp）からのメールが、「迷惑メールフォルダ」などに振り分けされている場合がありますので、御確認をお願いします。
- ・本研修では、受講者同士で交流を行いますので、受講者1名ごとに、Web会議システム（Zoom）に対応可能なICT端末を1台準備してください。